

## 目標達成計画

作成日：平成27年7月6日

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	34	日常生活の中で起こりうる急変や事故発生時の初期対応の研修について、関係者や専門職に協力を依頼して具体的に計画をじて実施したり、マニュアルに沿って実際動いてみるなど、より実践的な訓練の実施が望まれる。	急変時や事故等発生時に、適切且つ迅速な初期対応がなされるよう、全スタッフが訓練を実施し緊急時に備えられるよう取り組む。	急変や事故等が発生した場合に、迅速な対応がなされるよう、ご利用者様に起こり得るリスクマネジメントを継続し、初期対応等関係する機関（消防機関など）から専門的に学べる機会を設け、実践的な訓練に取り組んでいく。	6ヶ月
2	33	家族や本人の意向をアンケートなどを利用して確認し事業所としての方針を伝えるなど整備が始まっているが、さらに職員間でも周知・検討する機会をもち支援体制を構築していくことを期待する。	ご家族様やご本人様の意向を、アンケートにより集約し、スタッフ間で情報共有を図り、事業所としての支援体制を明確にする。	既に実施しているご家族様やご本人様からのアンケート結果をもとに、スタッフ間で情報共有を図り、ご利用者様個々の支援体制を明確にする。また、必要性に応じて、かかりつけ医との連携を図り、事業所として対応可能な状況を医療機関と情報共有をに努め、ご家族様とご本人様を含めた支援体制を構築していく。	3ヶ月
3	26	連絡ノートに介護計画の更新やモニタリングなどの情報が記載されているが、職員の誰も見やすく流もわかりやすいものにすることが望まれる。成果を「見える化」することにより、さらに課題やケアのありかたについて検討しやすくなるのではないだろうか。	全ご利用者様の介護計画と個人のケース記録を一冊に纏め、日々の支援内容と介護計画が連動される体制を構築し、介護計画の変更等が必要になった場合には、その都度記入できるようにすることで、より具体的且つ実状に応じた支援体制を整える。	介護計画とご利用者様個人のケース記録を連動できるように、記録方法等の検討を行い、介護計画と支援内容をどのスタッフが見ても分かりやすい環境を整備することで、更なる課題やケアのあり方等について検討し、より適切とされるケアの実践に取り組んでいく。	6ヶ月
4	23	様々な情報を集約し、状況や思い等が変わった際は速やかに追記や変更ができるように記録を整理することで、職員間で共有しやすくなり、利用者本位の対応につなげられるようにすることを期待したい。	ご利用者様一人ひとりの記録を整理できるように、介護計画と個人のケース記録を連動し、変更・追加等が必要になった場合には、その都度記録にのこし、スタッフ間で検討し易い環境を整備する。	介護計画に基づいた、個人のケース記録を実践するために、記録の方法についてスタッフ間で検討し、スタッフ個々の意見も反映しつつ、情報収集しやすい環境を整備する。また、記録を整備することで、今後の課題や支援方法等について変更の必要性を“見える化”できるように取り組んでいく。	6ヶ月
5	2	民生委員や町内会役員より助言を得ながら地域の実情に合う交流の方法を考え、「来ていただく」だけではない交流や付き合いをさらにすすめていくことを期待する。	これまでの地域主催行事への参加を継続しつつ、近隣地域の皆様と合同で行う防災訓練への参加を推進する。	事業所主催の行事への参加をこれまでと同様に、地域の皆様へ回覧版等を通じてご案内を継続するとともに、関係者や地域の皆様が主催する、合同の訓練に参加し、「来ていただく」のみならず、交流を図れる場合には、積極的に参加していく。	一年を通じて